SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

静岡県庵原郡両河内村北部の地質

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-08-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 相原, 淳 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00005966

静岡県庵原郡両河内村北部の地質

4年　相原　淳

賤機山－龍爪山－真富士山アルカリ火山岩帯の東側はEdmund Naumannによつて命名されたFossa Magnaの西縁であり、又糸魚川－静岡地質構造線の南部にあたる。この地域の地質学的特徴を明らかにする事は日本の地質構造研究の上できわめて重要な事から、筆者は昭和30年度前期卒業論文として両河内村北部の地質構造を研究したのでその要約を報告する。

本調査地域の地層は全て中新世及び鮮新世の砂岩・礫岩・頁岩互層であり、筆者はこれらを下部より龍爪山層群・川合野層群・和田島層群・清見寺層群に大別する。

龍爪山層群は海抜1000m内外の龍爪山－真富士山山稜と田代峠附近に源を発する断層線谷である興津川との間に分布している。走向はほぼN－Sで西へ約60度傾く単斜構造をなし、その層厚は1700m以上である。下部より砂岩頁岩互層・黒色頁岩層・砂岩頁岩互層・黒色頁岩層の順に重つている。中部の砂岩頁岩互層中には時に礫を挟有している。これらをそれぞれ河内砂岩頁岩互層・宝の窪頁岩層・石沢砂岩頁互層・寺社畑頁岩層と呼ぶ。これらの地層は全て整合的に重つており東は田代峠逆断層で切られ、西縁は所謂糸魚川－静岡地質構造線によつて切られ、石英斑岩・粗面安山岩・石英脈を介して賤機山－龍爪山－真富士山アルカリ火山岩帯と接している。

和田島層群は中河内－袖師逆断層にそつた断層線谷である中河内川によつて東側の清見寺層群と境され、西側は湯沢附近で後述する河合野層群と、平行不整合で接している。その層厚は1000m以上である。本層群は河合野層群と共に　曲構造をなし、樽附近を通る約N70W方向の西へ傾く褶曲軸がある。ほとんどが砂岩頁岩互層であるが中部以上には時に礫を挟有する、最上部には泥岩が見られる。筆者は本層群を和田島砂岩頁岩互層・檜村泥岩に区分した。本層群堆積中には2度の火山岩の噴出活動があつた。始めの活動は中河内バス停留所の北に露出するものでこれを中河内火山岩と命名する。次の活動は両河内村葛沢附近を中心とし樽北方1Kmの地点まで分布しこれを葛沢火山岩と呼ぶ。これらの火山岩はいずれも含普通輝石角閃石安山岩ないしは角閃石安山岩の集塊熔岩である。檜村泥岩は第2の火山活動の直後に堆積したもので礫岩から泥岩に移つている。

川合野層群は両河内村川合野以東北の山地を構成し北へ広く分布す礫岩・砂岩からなり層厚

は１７００m以上である。上述した如く柏村泥岩とは平行不整合であり、上限は田代峠逆断層によつて龍爪山層群と接している。礫は巨礫から細礫まであるが大部分大礫と中礫で礫質は砂岩・頁岩・赤色珪岩・石灰岩・閃緑岩・花崗岩などである。最下部即ち不整合面の上は基底礫岩の如き外観を呈し、boulder bearing cobble cong。であるが中部になると礫の大きさ、被度共に小さくなり、頁岩を挟むようになる。上部は再びboulder bearing cobble cong。となる。本層は南部に於て凹弧を西へ向けた半月状の向斜部を作り向斜軸は樽を通る背斜軸とほゞ平行している。本層中部には火山岩が挟まれている。元沢の北岸から湯沢の西方まで地層の走向にそつて走り、これを元沢火山岩と名付けた。凝灰岩をともなう含普通輝石角閃石安山岩の集塊質熔岩からなつている。

中河内川東方の山地は清見寺層群高瀬砂礫岩層が分布する。本層は北部へ行くほど礫が多くなり、礫は中礫・細礫で砂岩・頁岩などからなつている。

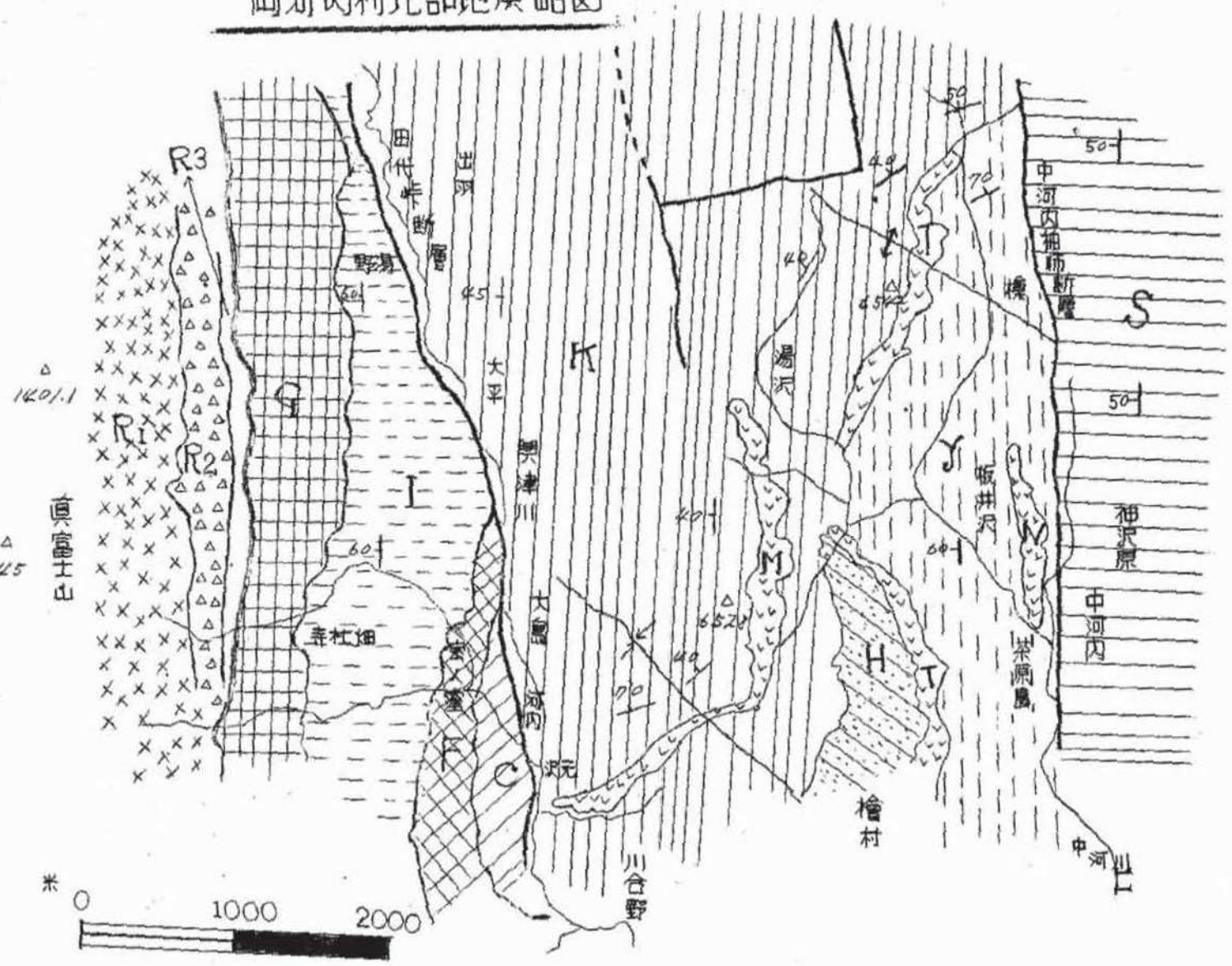
龍爪山層群。和田島層群。川合野層群はいずれも化石に乏しく化石による時代決定は出来なかつたが、清見寺層群高瀬砂礫岩層からはGlycymeris totomiensis Makiyamaが神沢原で発見され従来から掛川層群と対比されていたが、これをうらずけるものである。

龍爪山層群は本調査地域内でこそ単純な単斜構造であるが、上黒川以南では複雑な褶曲構造をなしている。龍爪山層群。川合野層群、和田島層群は南北に相平行した衝動断層によつて画された各地塊の中でその層向が著しく変化し、それぞれの褶曲軸の傾角は水平面と大きな角をなしている、この事は大井川褶曲運動の影響を受けた中新世の地層の特徴と考えられる。

清見寺層群高瀬互層は南北走向の単斜構造で中新世の地層ほど複雑な褶曲構造は見られない。和田島層群とは中河内－袖師断層で境されているので、両者の関係は残念ながら不明であるが、このような構造上の違いから本調査地域は中新世末の大井川褶曲運動と鮮新世以後の瑞穂フオツサマグナ　曲運動の交叉　曲帯と考える事が出来る。

井　田　一　善：所謂中央地溝帯南西部の地質構造　　京大学術報告（１９４５）
井　尻　正　二：山梨県南巨摩郡の糸魚川－静岡構造線について　　地震１８
大　塚　弥之助：静岡県庵原郡雨河内村附近の地質構造　　震研彙報１６巻（1943）
〃　　：南部フオツサマグナ地質構造上の1特性　　地質雑誌４５
〃　　：地質構造とその研究

西河内村北部地質略図



凡例

S：清見寺層群高瀬砂礫岩層
K：河合野層群
M：元沢火山岩
H：桧村砂泥岩層
T：慕沢火山岩
Y：和田島砂岩頁岩互層
N：中河内火山岩
G：寺杜畑頁岩層
I：石沢砂岩頁岩層
F：宝ノ窪頁岩層
C：河内砂岩頁岩互層
R_1・R_2・R_3：竜ノ山アルカリ火山岩